

川越・上越地区 液化ガス貯蔵設備の容量等の公表（2026 年度）

1. 貯蔵設備およびガス発生設備

	川越火力発電所 L N G 設備	上越火力発電所 L N G 設備
L N G タンク	840 千 kl	540 千 kl
L N G 気化器	能力：854 千 m ³ /h 種類：オープンラック式	能力：569 千 m ³ /h 種類：オープンラック式

2. 利用可能な船舶の種類および船型

	モス型		メムブレ型
	従来型タンクカバー	連続型タンクカバー	
川越基地	17 万 m ³ 級	18 万 m ³ 級	26 万 m ³ 級
上越基地	18 万 m ³ 級	18 万 m ³ 級	26 万 m ³ 級

（注）船舶の受入可否の判断については、船陸整合性の確認を必要とし、確認結果により受け入れることができない場合があります。

3. 液化ガスの種類および品質

総発熱量		40～45MJ/m ³ N
成分	メタン	84mol%以上
	ブタン以上	2mol%以下
	ペンタン以上	0.1mol%以下
	窒素	1mol%以下
その他		固形またはその他の不純物及び異物を含まないこと

（注 1）受け入れることができる L N G の品質は、個別の利用条件やタンク運用実態によって異なるため、上記の数値は目安とします。

（注 2）上記の数値を逸脱している場合、L N G の受入は既存基地利用者との協議などを行っていただく必要があります。

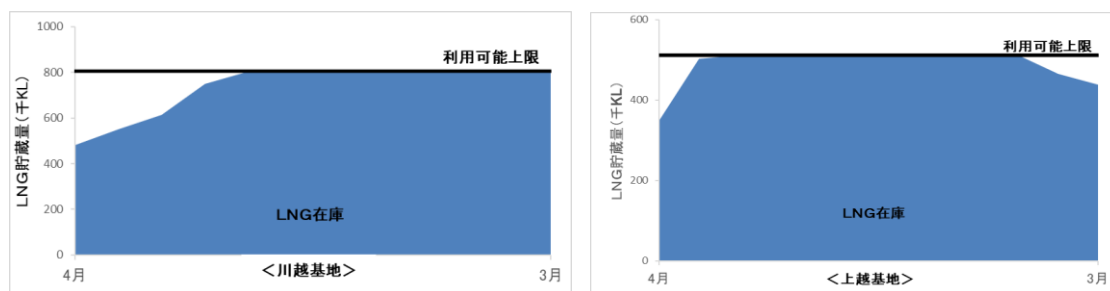
4. 配船計画の策定期の見通し

当年度の配船計画の策定スケジュールは概ね以下のとおりです。

- ・ 前年度 7 月頃 : L N G 売主との間で配船協議を開始
- ・ 前年度 1 2 月～3 月頃 : L N G 売主との間で年間配船計画を策定

（注）上記はおおよその策定スケジュールであり、具体的な配船計画策定スケジュールは様々な L N G プロジェクトによって異なります。

5. 液化ガス貯蔵設備における液化ガスの貯蔵の余力の見通し



注：上図はLNG貯蔵のイメージを示すものです。傾向として、季節に係わらず、LNGの受入状況、電力（ガス）の需要動向、発電所等の設備工事等によってタンク内の在庫は大きく変動いたします。

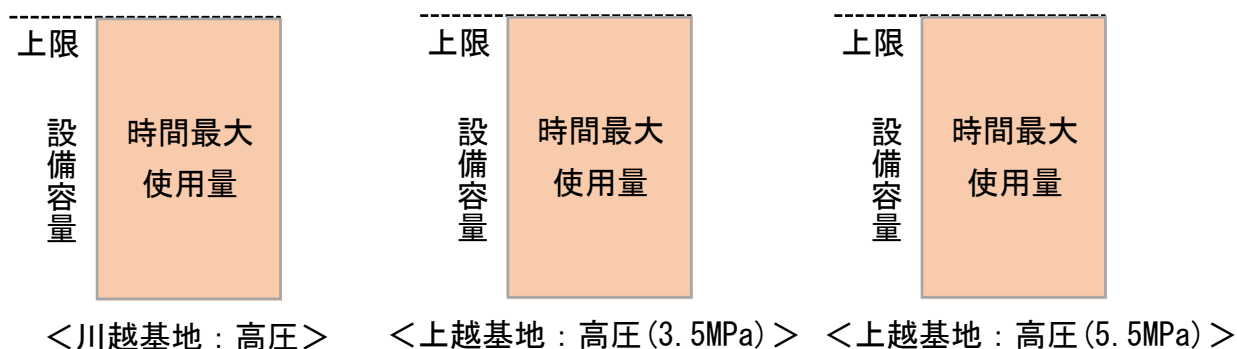
（１）ルームレント方式での余力

ルームレント方式による一般的なLNG船1隻（約120千kL）を受け入れられるだけの余力はありません。

（２）ルームシェア方式での余力

条件次第でご利用可能となる場合がございますが、実際の貯蔵能力は、需給動向や受け入れ状況によって変動しますので、詳細に関しましては別途お問い合わせください。なお、ご利用にあたっては、LNG在庫の賃借を行うことを前提に、年度終了時に在庫が0となるよう、払い出しを調整させていただきます。

6. ガス発生設備におけるガスの製造の余力の見通し



川越地区・上越地区ともにご利用いただける余力はありません。

（注）上図は、LNG気化設備の時間最大使用量をイメージで表したものです。

なお、電力（ガス）の需要動向、発電所トラブル、予定外の設備工事等により余力が供出できない場合があります。

以 上